



令和3年8月30日
十日町市博物館

新館オープン記念1周年記念・秋季特別展 「岡本太郎が見て、撮った縄文」を開催します

博物館では新館オープン1周年を記念して、秋季特別展「岡本太郎が見て、撮った縄文」を開催します。岡本太郎は、1951年（昭和26年）に東京国立博物館で縄文土器を見て、縄文に美を発見しました。その後、東京近郊の大学や博物館を訪れ、多くの縄文土器や土偶を自ら撮影しています。本展では岡本太郎が見て、撮った縄文時代の出土品（実物）とその写真を展示し、太郎のまなざしを通して見た縄文の美に迫ります。

1 秋季特別展について

会 期：令和3年10月2日（土）～11月14日（日）

時 間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料：1,000円（常設展と共通、団体20名以上900円、中学生以下無料）

休館日：10/4(月)・11(月)・18(月)・25(月)、11/1(月)・8(月)

お願い：入館時のマスク着用、手指消毒、検温にご協力ください。また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、内容が変更・中止になる場合があります。

2 記念イベント「“岡本太郎と縄文”を語る」

日 時：10月16日（土） 午後2時～午後4時

会 場：十日町情報館 視聴覚ホール

内 容：① 講演「岡本太郎と縄文人の神話的思考」

石井 匠 氏（岡本太郎記念館 客員研究員）

② 対談「岡本太郎の縄文発見」

山下 裕二 氏（明治学院大学文学部芸術学科 教授）

石井 匠 氏

定 員：50名（要事前申込・定員に達し次第締切・当日申込不可）

参加費：無料

申込み：電話・FAX・メールのいずれかで博物館へ

3 報道機関向け展示説明会

日 時：10月1日（金） 午後1時30分～午後2時30分

会 場：博物館 企画展示室

4 添付資料

・チラシ

■お問合せ先

十日町市博物館 担当：菅沼 亘

☎025-757-5531 / FAX025-757-6998

e-mail: museum.10@city.tokamachi.lg.jp

岡本太郎が見て撮った縄文

2021年10月2日(土)～11月14日(日)



写真提供：川崎市岡本太郎美術館

太郎が撮影した写真と実物を展示、太郎が見た縄文の美に迫る！

記念イベント 「“岡本太郎と縄文”を語る」

- 日時：10月16日(土) 14:00～16:00
- 会場：十日町情報館 視聴覚ホール(博物館より徒歩3分)
- ① 講演「岡本太郎と縄文人の神話的思考」
石井 匠 さん(国立歴史民俗博物館 科研費支援研究員 / 岡本太郎記念館 客員研究員)
- ② 対談「岡本太郎の縄文発見」
山下 裕二 さん(明治学院大学文学部芸術学科 教授)
石井 匠 さん

*要事前申込み、詳細はチラシ(裏面)をご覧ください。

お願い

- ・入館及びイベント参加時のマスク着用、手指消毒、検温にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、入館制限を行います。
- また、上記の内容が変更・中止になる場合があります。

観覧料：1,000円(常設展と共通・団体20名以上900円)
中学生以下無料

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：10/4・11・18・25、11/1・8

十日町市博物館
TOKAMACHI CITY MUSEUM



〒948-0072 新潟県十日町市西本町 1-448-9
TEL：025-757-5531 / FAX：025-757-6998
e-mail：museum.10@city.tokamachi.lg.jp
URL：https://www.tokamachi-museum.jp/

共催：信濃川火焰街道連携協議会・博物館友の会



写真提供：川崎市岡本太郎美術館

テーマ

岡本太郎は、1951年(昭和26)に東京国立博物館で開催された「日本古代文化展」を訪れ、そこで縄文土器を見て、縄文に美を発見しました。その後、東京近郊の大学や博物館を次々と訪れ、数々の縄文土器や土偶を自ら撮影しています。これらの写真は、1956年出版の『日本の伝統』(光文社)に掲載されました。本展では、岡本太郎が見て、撮った縄文時代の出土品とその写真を展示し、太郎のまなざしを通して見た縄文の美に迫ります。また、岡本太郎は野沢温泉や十日町市内の日本そば店を度々訪れており、その関連資料を紹介します。

主な展示品

- ・東京国立博物館 所蔵
深鉢形土器(長野県伊那市宮ノ前出土)
ポーズ土偶(山梨県笛吹市上黒駒出土)
河童形土偶(新潟県糸魚川市一の宮出土)
- ・東京大学総合研究博物館 所蔵
深鉢形土器(富山県氷見市朝日貝塚出土)
土 面(青森県つがる市亀ヶ岡遺跡出土)
- ・明治大学博物館 所蔵
遮光器土偶(青森県つがる市亀ヶ岡遺跡出土)
山形土偶(千葉県佐倉市江原台遺跡出土)
- ・宗教法人 国分寺 所蔵(国分寺市教育委員会保管)
深鉢形土器(東京都国分寺市多喜窪遺跡出土/国分寺市重要文化財)
- ・笛吹市教育委員会 所蔵
渦巻文土器(山梨県笛吹市桂野遺跡出土/山梨県指定文化財)
- ・井戸尻考古館 所蔵
水煙渦巻文深鉢 複製(長野県富士見町曾利遺跡出土/長野県宝)
- ・茅野市尖石縄文考古館 所蔵
深鉢形土器(長野県富士見町徳久利遺跡出土/長野県宝)
- ・松商学園高等学校 所蔵
土 偶(長野県松本市葦原遺跡出土)
- ・野沢温泉村教育委員会 所蔵
岡本太郎揮毫「湯」掛軸
岡本太郎デザインのスキー
- ・長岡市教育委員会 所蔵
岡本太郎芳名録

記念イベント

「岡本太郎と縄文」を語る

■ 日 時:10月16日(土) 14:00~16:00

■ 会 場:十日町情報館 視聴覚ホール(博物館より徒歩3分)

① 講演「岡本太郎と縄文人の神話的思考」

石 井 匠 さん(国立歴史民俗博物館 科研費支援研究員/岡本太郎記念館 客員研究員)

② 対談「岡本太郎の縄文発見」

山下 裕二 さん(明治学院大学文学部芸術学科 教授)

石 井 匠 さん

■ 定 員:50名(参加費無料・要事前申込・定員次第締切・当日申込不可)

■ 申込み:電話・FAX・メールのいずれかで博物館へ

講師プロフィール



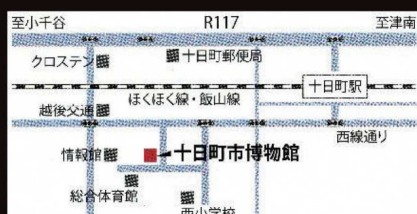
山下 裕二 さん

1958年、広島県生まれ。美術史家。東京大学大学院修了。室町時代の水墨画を中心に、縄文から現代までの日本美術史を論じるほか、展覧会をプロデュースする。著書に『未来の国宝・MY国宝』(小学館)、『日本美術の底力「縄文×弥生」で解き明かす』(NHK出版新書)など。



石 井 匠 さん

1978年、静岡県生まれ。芸術考古学者、ペーパー神主時々芸術家。國學院大学大学院博士課程後期修了、博士(歴史学)。岡本太郎の視点を軸に、縄文時代から現代までのモノとヒトの心について研究する。著書に『縄文土器の文様構造』(アム・プロモーション)、『謎解き太陽の塔』(幻冬舎新書)など。



アクセス

- ・ほくほく線、JR飯山線十日町駅から徒歩10分
- ・関越道 六日町IC、越後川口ICから車30分
- ・北陸道 上越IC、上信越道 豊田飯山ICから車80分

十日町市博物館

TOKAMACHI CITY MUSEUM

TEL : 025-757-5531 / FAX : 025-757-6998

e-mail : museum.10@city.tokamachi.lg.jp